

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公表番号】特表2009-503854(P2009-503854A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-523984(P2008-523984)

【国際特許分類】

H 01 L 21/66 (2006.01)

G 01 R 31/26 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/66 B

G 01 R 31/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月12日(2009.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プローバに対してテストヘッドを配置するための装置であって、
フレームと、

第1及び第2の細長いリードスクリュー(elongate lead screws)であって、各リードスクリューは、一端が前記フレームに枢着(pivotably coupled)され、第1リードスクリューは、第1ピボット軸の周りでピボット運動でき、第2リードスクリューは、第1ピボット軸に平行に延びる第2ピボット軸の周りでピボット運動でき、第1及び第2のリードスクリューは、第1及び第2の各回転軸の周りで回転可能であり、第1回転軸は、第1ピボット軸に垂直に延び、又、第2回転軸は、第2ピボット軸に垂直に延びるような第1及び第2のリードスクリューと、

前記第1リードスクリューに回転可能に結合された第1端部、及び前記第2リードスクリューに回転可能に結合された第2端部を有するリンクと、

前記第1回転軸の周りで第1及び第2の互いに逆の方向に前記第1リードスクリューを回転すると共に、前記第2回転軸の周りで第1及び第2の互いに逆の方向に前記第2リードスクリューを回転するために、前記第1及び第2のリードスクリューに結合された少なくとも1つのアクチュエータと、

前記リンクに結合され且つ前記テストヘッドを支持するようにされたアームと、
を備え、前記第1及び第2のリードスクリューを前記第1方向に回転すると、前記リンクを前記第1及び第2のリードスクリューに対して並進移動させ、前記テストヘッドを前記フレームに対して並進移動させると共に、前記第1リードスクリューを前記第1方向に回転し且つ前記第2リードスクリューを前記第2方向に回転すると、前記リンクを前記第1及び第2のリードスクリューに対して回転し、前記テストヘッドを前記フレームに対してピボット運動させるようにした装置。

【請求項2】

前記少なくとも1つのアクチュエータは、前記第1リードスクリューに結合された第1アクチュエータと、前記第2リードスクリューに結合された第2アクチュエータを含む、
請求項1に記載の装置。

【請求項 3】

前記アームは、前記テストヘッドを前記アームに沿って第1及び第2の互いに逆の方向に移動するための並進移動メカニズムを含む、請求項1に記載の装置。

【請求項 4】

前記並進移動メカニズムは、直線的ガイドレールを含む、請求項3に記載の装置。

【請求項 5】

前記リードスクリューは、ローリング要素スクリュー(rolling element screws)である、請求項1に記載の装置。